



宮大工の仕事

「伝統技術を後世に伝える」

多くの社寺がある奈良県にとって宮大工の存在は必要不可欠です。建造物を全解体または半解体して行う「根本修理」、屋根の葺き替えや塗装修理などを行う「維持修理」の現場では、ともに「可能な限り、元の状態に戻す」ことを前提に宮大工の技術が生かされます。またお堂などの新築の際には、彼らが古来の建築方法を子細に研究した成果を踏まえて建てるなど、さまざまな時代の職人たちの手により、奈良のすばらしい社寺建築技術が伝えられてきました。その一端を宮大工の技能を持つ県職員も担っています。この「宮大工の県職員」という制度は大変珍しく、長い歴史を持つ奈良県ならではの取り組みとなっています。（この特集の中では、薬師寺東塔と長福寺本堂の解体修理を担っています。）

薬師寺東塔解体修理

1300年前の仕事を次世代へ
白鳳建築の解体修理

薬師寺東塔の今回の修理は、明治以降では3回目の大きな修理にして初めて、初重(※1)の柱までの木部すべてを解体する大がかりなものとなっています。「塔」の象徴ともいうべき「心柱」の根元に空洞が生じていることが、以前の科学的調査で推定されていたためです。解体すると、「心柱」はやはりシロアリなどが原因で大きく空洞化していることが確認されました。また、今回の解体による調査によって、約1300年の間に、どの部分がいつ、どのような方針で修理されたのか、徐々にわかっていきます。なお、心柱の空洞化している部分は、国産のヒノキを用いて補うことが決まっています。

(※1)塔の最下部層のこと。初層。



1 初重の解体作業中の東塔。解体箇所が下に行くに従い、支えてきた重さの桁外れさを示す傷み具合が明らかに。中央に見えるのが「心柱」。
2 解体調査中に見つかった初重の天井に描かれた宝相華(ほうそうげ)。格子で隠れた部分に、創建当初の文様の色彩が退色することなく残っていました。

薬師寺

所 奈良市西ノ京町457
☎ 0742-33-6001
行 ●近鉄西ノ京駅から徒歩すぐ●JR・近鉄奈良駅から六条山行きバス「薬師寺」下車、徒歩すぐ
http://www.nara-yakushi.com/
MAP P19 A a-2 特別開帳 P12

長福寺本堂解体修理

礎石の凹凸に柱の木口を
添わせる技術に仰天

飛鳥時代または奈良時代に創建したと伝わる長福寺。鎌倉時代建立の本堂の解体修理では傷みの激しい部分は除去し、新しい木で補う「矧木」(※2)、「根継」(※3)などの技術が施されます。また礎石の上面は細かく複雑な凹凸があります。その凹凸に沿うように柱材の木口は削られ、柱を立てるとぴたりとはまり、ズレないのです。緻密な計測と、寸分狂わない大工仕事が成せる業です。新しく用いられる材は吉野郡のヒノキで、カンナ掛けされた面をよく見ると風景を写し込んでいます。それほど平滑さで得られるのは撥水効果。これは逆目できてしまう電動鉋では不可能で、昔ながらの台鉋を使いこなすことで生まれる技です。

(※2) 一部分の切り取り新材補修
(※3) 柱下部腐朽部の切断交換



1



2



3

1 礎石に建てられた柱の木口は、石の細かなカーブに沿うように細工され、まるで木と石が一体化しているよう！
2 「根継」された材。
3 以前の修理の際に記されたどの位置の材かを示す墨書き。
4 カンナ掛けの様子を拝見。ちなみに長福寺の現場にいる2人の宮大工は奈良県職員。奈良県は全国でも珍しく、公務員として宮大工を採用しています。工事終了予定は平成28年夏頃。



長福寺

所 生駒市俣口町841 ☎ 0743-73-2563
行 近鉄生駒駅から生駒台方面行きバス「北条」下車、徒歩約5分
MAP P19 B a-1



1 屋根の木組み。作業中の人物と比較すると木材のサイズ感が伝わってきます。
2 打ち立てられた柱は36本。この巨木を揃えるために20年以上の歳月がかかっています。写真は立柱式の際のもの。



2

興福寺中金堂再建

ケヤキの柱は1本4トン半
「千年もつ木造建築を」

興福寺中金堂は伽藍の中心となる建物で、長い歴史の中で消失と再建を繰り返してきました。今回の再建は、約300年ぶりとなります。復元の理念は「創建時の姿を木造で再現し、千年もつ建築を」。現存しない中金堂の設計にあたって唐招提寺などが参考とされ、寸法は現代のメートル法ではなく、奈良時代に常用された「天平尺」で計算されました。また、綿密な構造計算など現代技術を取り入れつつも、施工方法そのものは鎌倉室町時代に完成された古式に則って建築されています。平成30年10月に落慶法要が予定されています。

興福寺

所 奈良市登大路町48 ☎ 0742-22-7755 行 ●JR奈良駅から市内循環バス「県庁前」下車、徒歩すぐ●近鉄奈良駅から徒歩約5分
http://www.kohfukuji.com/
MAP P19 A c-2 特別開帳 P10

春日大社式年造替

春日大社の20年に一度の式年造替を通し
伝承される職人の技術

式年造替は、定期的に社殿の修繕を行う神社特有の制度です。社殿を造り替え、修繕を行い、神様のお住まいを改めることによって、いつまでも若々しく更に力を増し、我々人間を守っていただくという願いから始まったと伝わります。同時に、建築技術を継承するために必要な仕組みにもなっています。式年造替を行うことで、職人の技術が実地的に伝授されています。今回の造替は平成19年の一之鳥居から始まり、平成28年の御本殿の正遷宮で完了予定。近年は檜皮の葺き替え、朱塗りの修繕などの維持修理が進行中です。



1



2

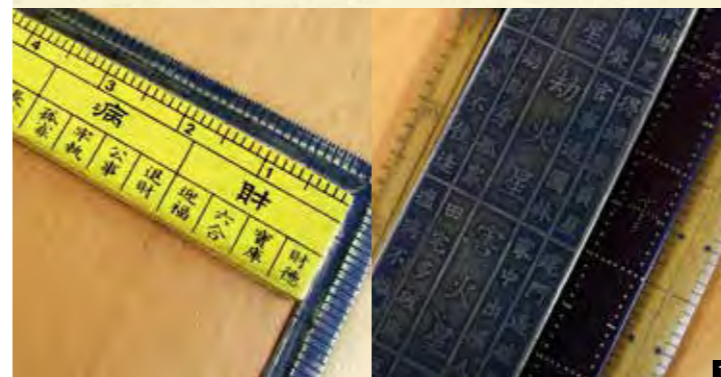
1 「春日番匠座」と呼ばれる大工集団が手掛けてきたご造替。現在は社寺建築を請け負う施工業者が式典も含め、その役を担っています。
2 屋根の葺き替えは重要な「維持修理」の一環。ご造替は技術伝承における貴重な実践の場です。

春日大社

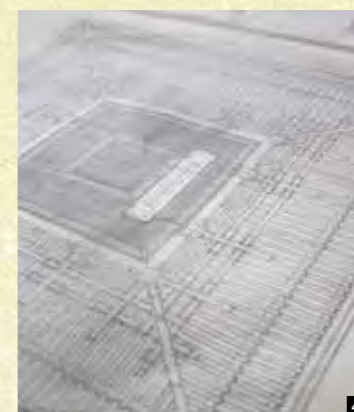
所 奈良市春日野町160 ☎ 0742-22-7788
行 ●JR・近鉄奈良駅から春日大社本殿行きバス終点下車、徒歩すぐ●JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「春日大社表参道」下車、徒歩約7分
http://www.kasugataisha.or.jp/
MAP P19 A d-2 特別開帳 P10

目の前にある答えから学び、1000年先を見据える

昭和24年にこの道に入りました。初めての現場は昭和25年の元興寺極楽坊禅室の修理工事でした。この仕事がかく面白くてね。何が面白いかというと難しいんですよ。何もかも分からないことだらけなのです。しかし、その分からないことの答えというのは私の目の前にある。例えば法隆寺は飛鳥様式の寺ですが、天平建築も鎌倉のものも室町のものもある。あらゆる堂宇がそれぞれの時代の建築の答えを示してくれているわけです。私たちの仕事は、その答えから計算式を導き出すこと。どういう道具を使ったのか？その使い方は？と、一つ一つ紐解いてゆく――つまり「答えから学ぶ」のです。奈良には1300年分の建築がありますからね。向こう13000年分は学ぶことがありますよ。そのためにも後進の育成は命題です。私がかつてに得た知識は惜しみなく伝えたいのです。いわば「多子相伝」。以前、ユネスコからの依頼でモンゴル



の古建築修復を行うために、ユネスココンサルタントとして技術指導に当たりました。モンゴルは気候条件が良く建物が傷みにくい。それが逆効果となって修理修復の機会がなく技術が途絶えてしまったのです。ですから私は教えられるだけのことをお伝えしてきました。翻って、日本は湿気が多く、木造建築を維持するにはこまめな修理が必要です。だからこそ大工の技術が連綿と伝えられることにもなりました。これからは、技術や道具について学び続け、礼儀や作法、木を見る目、人の育て方といった仕事に関わるすべてのことを、ひたすら正しく広く伝承していきたいと考えています。



1 飛鳥時代～奈良時代に用いられていたもの。天文学に基づく占術や数学の知識の賜物です。
2 瀧川さんが現場で愛用し続けた道具。持ち手の艶が使い込まれた年月を物語ります。
3 瀧川さんが収集した様々な時代、地域の木工道具。宮大工の技を学び、伝承するための重要な資料です。
4 瀧川さん手書きの設計図。2Hの芯で引かれた緻密で正確無比の線。美しさに圧倒されます。



Profile

瀧川 昭雄 たきがわあきお
1933年5月11日生まれ 奈良県桜井市出身。
法隆寺、東大寺、薬師寺、興福寺など100カ寺以上の国宝建造物の修復に従事。奈良県職員(専門職)を80年に退職。瀧川寺社建築社長兼棟梁として日本や香港、中国の寺院修復、建築に携わり、81～83年はユネスコの要請でラマ教寺院(モンゴル)修復を指揮。朱雀門、第一次大極殿を復元。香港建築大賞2002、文化庁長官表彰(06年)、内閣総理大臣賞(07年)受賞。

日本聖公会奈良基督教教会会堂



天井のほかにも、社寺の欄干を思わせる反りを持たせた手すり(コミュニオン・レール)など、宮大工の技を用いた意匠が随所に。

奈良基督教教会

所 奈良市登大路町45 ☎ 0742-22-3818
行 近鉄奈良駅から徒歩約2分 http://www.nskk.org/kyoto/nara/
※日曜礼拝は信徒でなくても参加可能
MAP P19 A c-2



写真：金峯山寺 現在の仁王門は養生布が張られています。布越しに仁王像のお姿を拝することができます。

金峯山寺

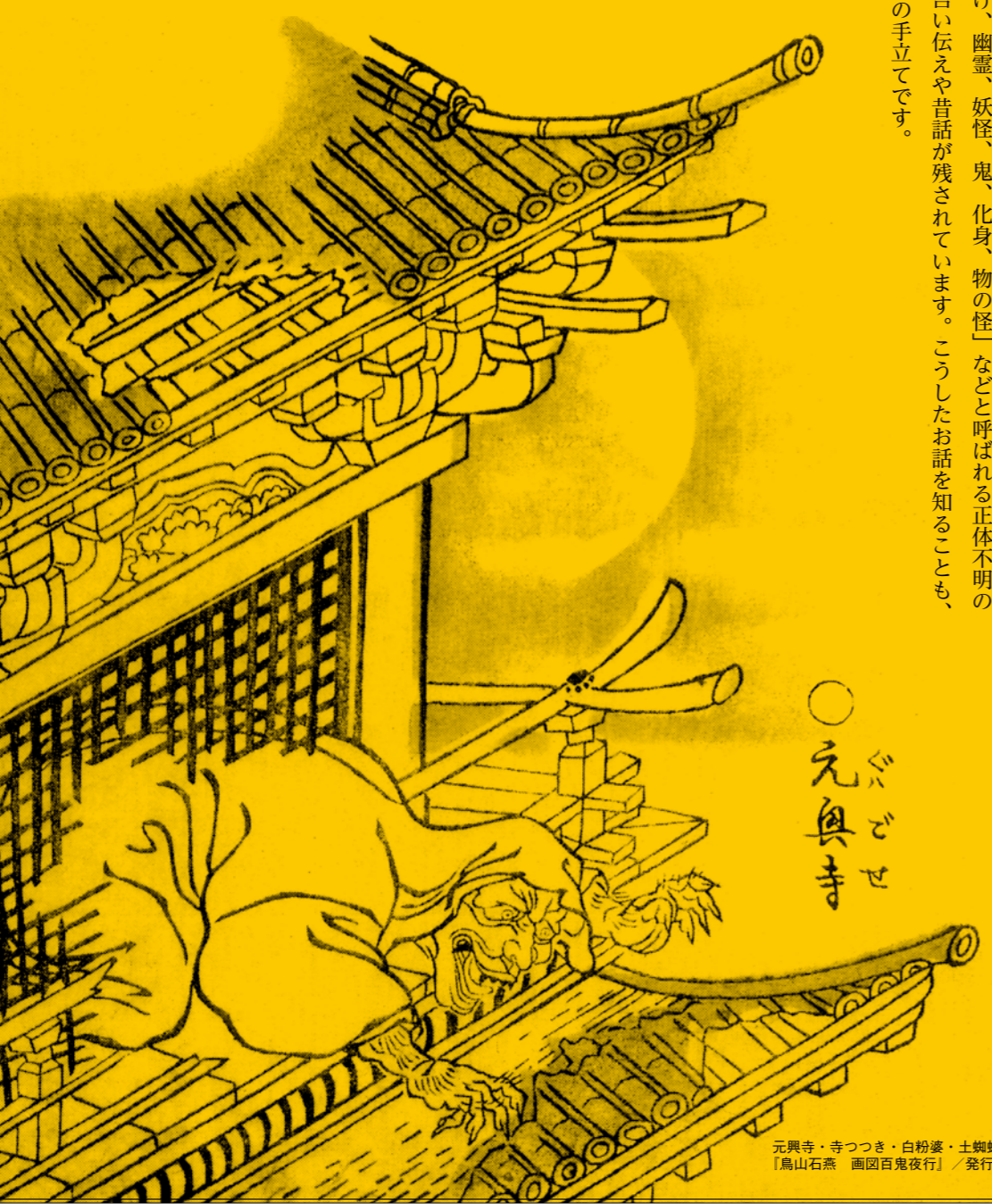
所 吉野町吉野山2498 ☎ 0746-32-8371
行 近鉄吉野駅から徒歩約30分またはロープウェイ「吉野山」下車、徒歩約10分 http://www.kinpusen.or.jp/
MAP P22 I c-2 特別開帳 P16

金峯山寺仁王門
南北朝時代に建立と伝わる寺最古の建築
上下層に屋根を重ねる格式の高い二重門。下層は上層より建立年代が古く、細部のデザインに違いが見られます。近年、屋根などに傷みがあることから、修理に向けての準備が進められています。

奈良に伝わる不思議譚

ちょっと奇妙なエピソードが語られたり、「お化け、幽霊、妖怪、鬼、化身、物の怪」などと呼ばれる正体不明の存在が描かれたり。奈良の各地には、不思議な言い伝えや昔話が残されています。こうしたお話をすることも、それぞれの土地を深く感じられるようになる一つの手立てです。

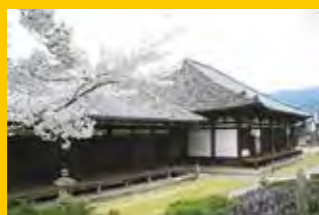
元興寺



元興寺・寺つつき・白粉塗・土蜘蛛 挿絵
鳥山石燕 画図百鬼夜行 / 発行：(株) 国書刊行会

元興寺

邪悪な鬼を退治する雷を神格化して元興神と称す
「元興寺の鐘楼に悪霊の変化である鬼が出た。それを入寺した雷の申し子である大力の童子が退治した」という説話が残されています。そして、この話から、邪悪な鬼を退治する雷を神格化して、八雷神(やおいかづちのかみ)や元興神と称することになったと伝わっています。



元興寺
所 奈良市中院町11 ☎ 0742-23-1377
行 ●近鉄奈良駅から徒歩約12分 ●JR奈良駅から徒歩約20分
http://www.gangoji.or.jp/
MAP P19 A c-2 特別開帳 P10 境内 写真：(公財)元興寺文化財研究所

妖怪談義

ようかいだんぎ



妖怪かも知れないー

正体不明のものたちが描かれた奈良の昔話
奈良県各地で伝えられる怖い話に奇妙な話。不思議な
ことや困ったことが起こると、それは正体不明の存在
によるものだとか描かれることが多いようです。そして
中には戒めや畏怖の念も込められているようです。

辻村住職 昔、元興寺という言葉が日本中に広まったときは、お寺の名前だと知っている人は少なくて、むしろ鬼の名前として浸透しました。

逢香 そうなのですね。

辻村住職 お寺の名称がそのまま鬼、妖怪の名前になっているのは大変珍しいです。うちのお寺にいくつか鬼瓦があるのですが、古いものは鳥のようにも見える表情で、新しいものは角があるなど具体的な特徴が見られます。ヒトの中で段々と鬼のイメージが出来上がっていったのだなと感じます。

逢香 私は薄気味悪さに心惹かれて妖怪画を描き始めたのですが、「この妖怪が生まれる元になったものは何だろう。どんな状況だったのだろう」と考え、調べながら絵のイメージを膨らませていきます。これは日常の中で起きた不思議な出来事が妖怪たちの仕事とされたみたいだな、と思うことも多いです。

辻村住職 そうですね。鬼や妖怪、物の怪というのは、私たち人間世界が何かに戸惑っているときに現れるのではないのでしょうか。社会的な装置として。

逢香 説明がつかないことは妖怪の仕事だと。

辻村住職 そして例えば「鬼ごっこ」。あれは「鬼に見つかると、見つかった人が鬼になる」というルールがありますね。つまり私たち誰しもが鬼になる可能性があるということです。鬼や妖怪といったものは必ずしも単なる悪ではなく、むしろ身近なもの、愛しいものではないかと思えますね。

逢香 そう言えば元興寺さんは節分の際「鬼は内」と言ってお豆まきをされていますね。

辻村住職 その通りです。「鬼は内」と言えば、鬼の子孫だと言われる5つの家系が伝わる天川村もそうですね。ここでは鬼は追い払うものではなく、大事な祖先様だから「お迎え」するわけです。

ちなみにこの家系はそれぞれ苗字に「鬼」の字が含まれるのですよ。

逢香 興味深いです！ そう

そう、こゝ元興寺さんの庭に小さな鬼の置物があるのを見つけました。あれは昔からですか？

辻村住職 いえ、あの置物は3年ほど前からでしょうか。

境内の5か所に置いてあります。

逢香 表情や姿勢がユーモラスで愛嬌たっぷりですね(笑)。親しみが湧いてきます。



辻村住職 ぜひ5つの鬼を探してみてください(笑)。境内の外にも鬼にまつわる場所がありますので、合わせて巡ってみていただくと良いかも知れません。ならまちの不審ヶ辻子は元興寺の僧侶に退治されそうになった鬼が逃げて姿を消した場所、逃げた鬼が隠れた場所は鬼隠山と呼ばれ、現在の奈良ホ

砂かけ婆

砂を振りかけて脅かす妖怪

砂かけ婆は誰にも姿を見せず、神社や森を歩いていると、砂をかけて脅かしてくる妖怪。古典でも描かれていないのですが、なぜかお婆さんと伝わります。廣瀬大社では、砂を雨に見立てた雨乞い神事「砂かけ祭」があり、砂をかけ合い五穀豊穡を祈願します。そこで、砂かけ婆の出身地は奈良県とされることもあります。



廣瀬大社

所 北葛城郡河合町川合99
☎ 0745-56-2065 行 ●JR法隆寺駅 または 近鉄池部(いけべ)駅下車、徒歩約20分 ●JR法隆寺駅 または 近鉄池部駅からタクシー約8分
MAP P20 C c-2



一本だたら

一本足で一つ目の山中に住む妖怪

紀伊山地で語られる一本だたらは通行人に悪さを働いたと伝わります。上北山村の伯母峯には、この妖怪を封じたというお地蔵様を祀る祠があります。またこの地では一本だたら=猪笹王という鬼神を指す場合もあり、この猪笹王を祀る祠も残されています。



イラスト：上北山村役場

伯母峯辻堂

所 吉野郡上北山村西原(伯母峯トンネルの出口)
☎ 07468-2-0001(上北山村役場) 行 近鉄大和上市駅から大台ヶ原行きバス「和佐又山登山口」バス停下車すぐ
MAP P18 全体MAP



土蜘蛛

天皇に恭順しなかった土豪(どごう)たち

大和朝廷に抵抗した民、土蜘蛛と呼ばれた彼らの痕跡が御所市に2つあります。一つは葛城一言主神社に残る土蜘蛛を埋葬したという「土蜘蛛塚」、もう一つは高天彦神社からほど近い山中にある「蜘蛛窟」で、住処だった穴があったとされる場所です。

葛城一言主神社

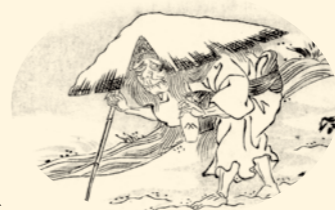
所 御所市大字森脇432 ☎ 0745-66-0178
行 ●近鉄御所駅から五條バスセンター行きバス「宮戸橋」下車、徒歩約30分 ●JR近鉄御所駅から徒歩約50分 または タクシー約10分 ●近鉄御所駅から市コミュニティバス(西コース内回り循環)「森脇」下車すぐ
MAP P22 1 a-1



白粉婆

画僧たちのために苦労を重ね、お粥の接待をして功德を積んだ老婆

十津川流域に伝わる老婆の妖怪。また長谷寺には「創建の際、僧たちの食事を十二分に賄った老女がいたが、ある時、姿を消してしまった。人々は観音様の化身だったと考え、着物と白粉をお供えするようになった」という昔話が「一箱べったり」という行事とともに伝えられました。長谷寺の境内にある、同寺草創のお堂・本長谷寺には現在も白塗りの仏様が祀られています。



長谷寺

所 桜井市初瀬731-1
☎ 0744-47-7001
行 近鉄長谷寺駅から徒歩約15分
http://www.hasedera.or.jp/
MAP P22 1 a-1 特別開帳 P16



本長谷寺堂内に安置

寺つつき

嘴(くちばし)で寺中をつついて壊そうとするキツツキのような怪鳥

「討伐された物部守屋が寺つつきという怨霊となり、聖徳太子ゆかりの寺院を荒らしまわった。そこへ鷹がやってきて寺つつきを追い払った。この鷹は聖徳太子の化身だった」というお話があり、寺つつきの正体はキツツキの一種・アカゲラとされています。

法隆寺

所 生駒郡斑鳩町法隆寺山内1-1
☎ 0745-75-2555
行 ●JR法隆寺駅から法隆寺門前行きバス終点下車、徒歩すぐ ●近鉄筒井駅から王寺駅行きバス「法隆寺前」下車、徒歩すぐ
http://www.horyuji.or.jp/
MAP P20 C c-2 特別開帳 P13



写真：一般財団法人 奈良県ビジターズビューロー

